

仙台南部道路の4車線運用による整備効果

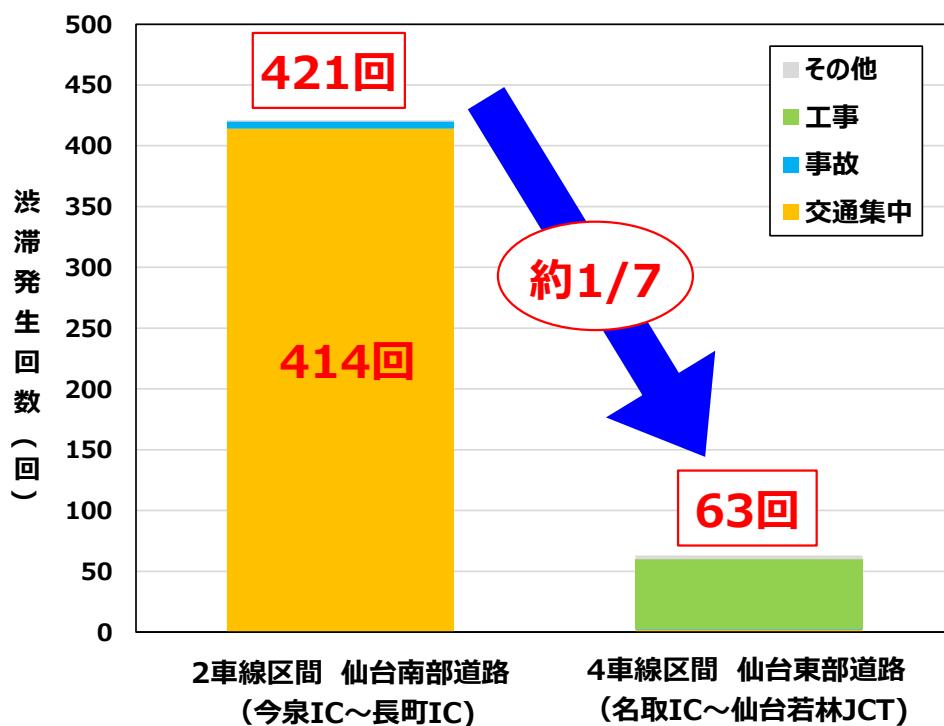
NEXCO

渋滞の緩和

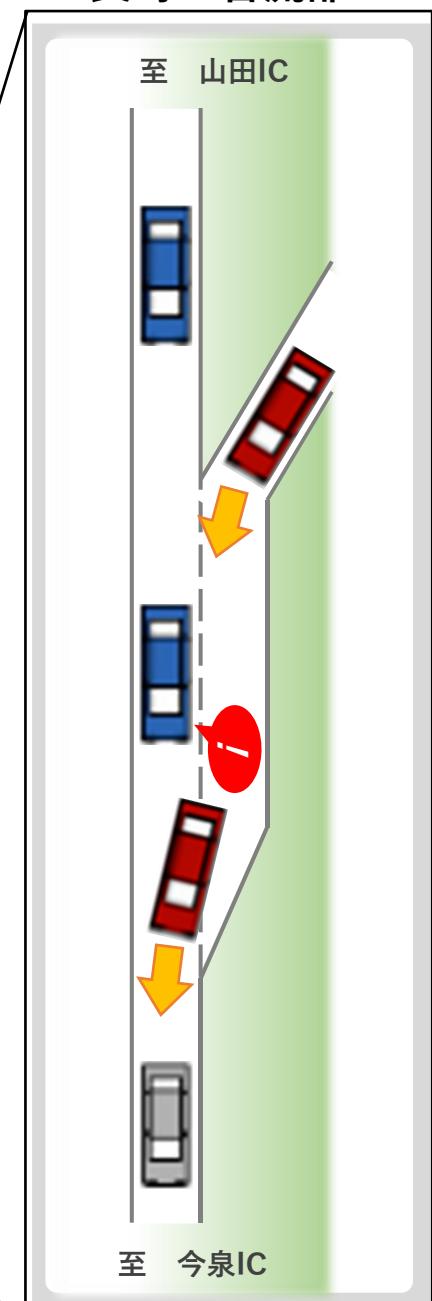
- 特に今泉ICから長町ICの区間で交通集中による渋滞が多発。
(H27~R1年の5年間で交通集中による渋滞が**400回以上**発生。)
- 朝に長町ICの上り線合流部を先頭とする渋滞が発生。

4車線運用することにより、渋滞の緩和が期待されます。

近傍の4車線区間（仙台東部道路）との渋滞回数の比較（H27~R1の5年間）※



仙台南部道路（上り）
長町IC合流部



4車線運用前の長町IC合流部での流入状況



仙台南部道路の4車線運用による整備効果

NEXCO

安全かつ円滑な交通の確保

- 今泉ICから長町ICの区間でH27～R1年の5年間で通行止めが**88回**発生。
- 通行止めの発生要因としては、交通事故や維持補修工事によるものが**約9割**を占めている。
- 本線中央分離帯を突破し、反対車線に飛び出す重大事故がH27～R1年の5年間で**3件**発生。

4車線運用することにより以下の効果が期待されます。

- 交通事故や維持補修工事による**通行止めの減少**。
- 中央分離帯突破等の**重大事故の減少**。

近隣の4車線区間（仙台東部道路）との通行止め回数の比較（H27～R1の5年間）※

中央分離帯突破事故発生状況

